

国家戦略特区・養父市 可能性ある中山間地域の未来

全国の中山間地域が少子高齢化と人口減少に苦しむ中、2014年に国家戦略特区に指定された養父市の農業改革に注目が集まっている。規制緩和による企業の農業参入によって、情報通信技術（ICT）を活用した「スマート農業」「農産物の産地化」など、大胆な試みが着実な成果を挙げているためだ。農業改革に関わる官民の3人がこのほど、養父市で意見交換し、中山間地域での農業の未来について考えた。

農業の変革で地方創生を

北尾氏 社会課題に正面から臨む

秋山 例年は国家戦略特区をテーマにしたシンポジウムを開催しているが、コロナ禍のため形式を変更した。まず自己紹介を。

北尾 クボタは昨年、創業130年を迎えた。食料・水・環境の分野で事業を展開している。私は約30年間、農業機械、特にトラクターの開発・設計に携わった。世界の農業に関わり、難しさや魅力について学んだ。

北尾 養父市の発展、市民の豊かで幸せな地域づくりに力を尽くしたい。地域社会が持続し繁栄する

秋山 従来は制度を改革していくことも必要。

北尾 養父市は21年度の施政方針のサブテーマとして「大胆な挑戦から確かなイノベーション」を掲げている。特に農業分野が焦点だ。一方クボタの北尾社長も「イノベーションなくして成長なし」というメッセージを発信しており、キーワードが一致している。

北尾 イノベーションとは一般的に新技術の開発や技術革新などを受け取られているが、新しいアイデアから社会的意義のある新しい価値を創造するという点である。社会は時代と共に変化する。課題も変わる。行政は時代の流れに対応しなければならないが、往々にして変化についていけない。特に最近では少子化、高齢化、人口減少が顕著で、社会情勢の変化に対応し、制度も変わらなければならない。

北尾 養父市の農業は危機に直面している。農地は、高齢化や人口減少による担い手不足で維持が難しくなっている。農業を維持することが地方創生にとって重要である。

広瀬氏 農業にイノベーションを



秋山 技術は社会の課題に向き合うものだと感じた。ところで、中山間地域は少子化や高齢化が深刻だが、企業としてどう向き合う。

北尾 特に兼業農家は高齢化が深刻だ。担い手農家が田畑を集約しているが、追いついていない。農業には地域ごとのノウハウが必要。スムーズな継承には「農業の見える化」「機械化」「スマート農業化」が必要ではないか。それを支えるのはICT、AI、ロボット農機だ。これからはデータを活用した農業が中核となるだろう。クボタスマートアグリシステム（KSAS）というサービスを開発した。例えば、コンバインが米の収穫量や成分などのデータを記録する。それを翌年の耕作計画に活用することで、減肥減農薬や品質向上を図れる。人手不足には無人農機が役立つ。小さな田畑でも使えるようなものや、一人で数台操作できたり、24時間作業できたりといった技術も開発したい。また、各地で施設栽培や稲作などに取り組み「クボタファーム」を展開している。つくった米はシンガポールや香港などに輸出もしている。

秋山 わくわくするような農業

北尾氏 スマート化が継承のカギ 広瀬氏 他地域にも企業の参入を



「クボタeファーム」での高糖度トマト栽培。「クボタスマートアグリシステム」を活用したスマート農業を実践

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを

秋山 市長の信念が伝わった。一方クボタの130年の歩みは、イノベーションの繰り返りだったと思われる。

北尾 もともとほつれ物事業が始まり。当時はコレが流行し、安心安全な水の供給に貢献したいという創業者の思いが、国内初の鉄管製造の成功に結びついた。創業者は「技術的に優れているだけでなく、社会的に役に立つものでなければならぬ」と言っていた。130年の歩みは、常に社会の課題に正面から向き合うことが基本だ。

北尾 イノベーションなくして成長なしと考えている。社会課題が多様化し大胆な変化が必要だからだ。農業の課題解決には、トータルソリューションを提供しなければならぬ。既存技術の結合、人と人の結合が大事。つながりの中でイノベーションがおこると思う。

北尾氏 特色生かした農業に貢献

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

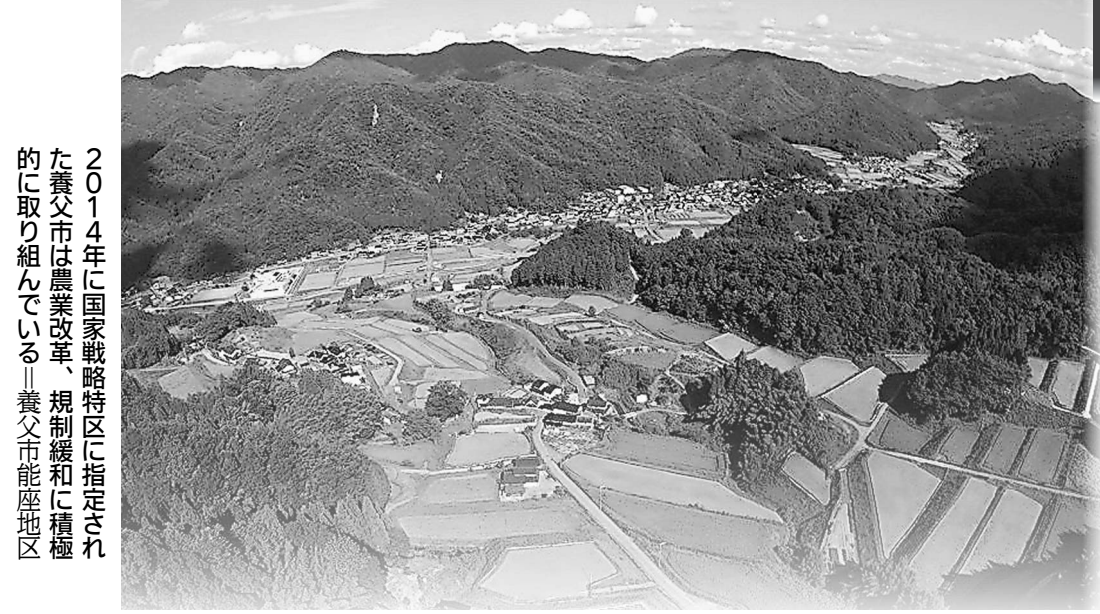
北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを



2014年に国家戦略特区に指定された養父市は農業改革、規制緩和に積極的に取り組んでいる。養父市能産地区

ひろせ・さかえ 1947年養父市生まれ。71年鳥取大学農学部卒。建設会社勤務後、旧八鹿町役場入庁。2004年に旧養父郡4町が合併し養父市発足後、都市整備部長、副市長を務め、08年養父市長選に出馬し初当選。現在4期目。

きたお・ゆういち 1956年生まれ。79年東京大学工学部卒。久保田鉄工（現クボタ）入社。トラクタ事業部長、機械事業本部長を経て20年1月に社長就任。

養父市長 広瀬 栄氏

株式会社クボタ社長 北尾 裕一氏

株式会社サキコーポレーションファウンダー 養父市特区推進共同事務局長 秋山 咲恵氏

あきやま・さきえ 1987年京都大学法学部卒、アクセンチュア株式会社（現）入社。94年株式会社サキコーポレーション設立、2018年代表取締役社長。ソニー、日本郵政、オリックス、三菱商事などの社外取締役、国家戦略特別区域諮問会議民間有識者議員など。

対談参加者

秋山 咲恵氏

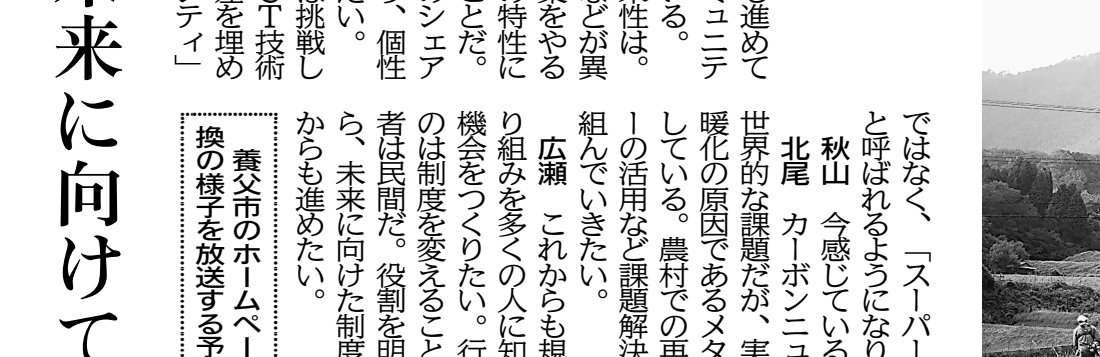


実証実験中の田植え機

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを



農作業の大きな負担の一つである、のり面の草刈り。ICT導入で省力化が進み、農業離れの食い止めに期待がかかる。下は急斜面にも対応する無線遠隔草刈り機

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを

秋山 ICTは社会を変えつつある。私もこのフォーラムに、東京からリモートで参加している。

北尾 時代は変わった。戦後にできた農地法にもイノベーションが必要だと考える。時代に沿って制度も変える必要がある。規制緩和の成績を積み上げ、日本全体を変えたい。養父市の取り組みを知ってほしい。国民的な議論が巻き起こればいい。ほかにもシルバー人材センターの規制緩和、オンライン医療など、先進的な取り組みをしている。こうした取り組みを、農業改革の実績もPRしたい。

北尾 クボタは7、8年前にクボタファームの構想を打ち出し、今は全国13カ所で水稲や菜園などを